



あじさい

～それぞれの色・様々な色～

相模原市立宮上小学校

学校だより

2026年6月30日

4号



コップを上向きに…

大木 真理

新採用の時の初めての保護者面談…緊張する私に先輩からのアドバイスは、「**学校でのお子さんのことを分かってもらいたいと、伝えたいことだけ言って独りよがりにならないこと。保護者の方の心のコップが上向きになっていないと、どんなに言葉を注いでも全部流れ落ちてしまうよ。まずは、コップを上向きにしてもらう関係づくり。**

そして、あなたもコップを上向きにして保護者の言葉を聞くんだよ」と。

我が家は、平日休みの営業職の夫と長女、長男、次男の5人家族です。子どもたち3人はもう社会人になり独立しました。長女と3才違いで長男が生まれた頃の話です。長女の赤ちゃん返りとやきもちには本当に困っていました。例えば、長男におっぱいをあげ始めると、見計らったように私のそばに来て「おしっこ～」。「ちょっとだけ待って」と言おうものなら、私の目を見据えながらその場でおもらしをする（汗）。他にも、長女を注意すると、泣きながら頭を壁にぶついたり自分の髪の毛をむしったり…小さな手に握られた髪の毛に、「どうしたらいいの」と一緒に泣いたこともありました。

ある日、親戚に長女と長男を預けて出かけ、帰って来た時のこと。よちよちとかけ寄る長男を「ただいま」と抱き上げ、続いて長女を「お留守番ありがとう」と抱っこしようとしたら、「もういい！」とプイッと離れて行ってしまいました。その様子を見ていた親戚に「弟の面倒をよく見て、もうすぐママ帰ってくるからねって、ずっといいお姉ちゃんだったよ。車の音がして玄関が開くのを楽しみに待ってたよ。**なんで先に『ありがとう～』ってお姉ちゃんを抱っこしてあげなかったの？お姉ちゃんに目もくれず先に弟を抱き上げた時の寂しそうで悲しそうな顔見た？**」と言われて、本当にハッとしました。**心のコップに言葉がザパツと入った瞬間でした。**

2人目の世話で精一杯。なんで協力してくれないの？と自分の都合ばかり押し付け、急に環境が変わった長女の様子を見ていなかったと。子育てはいつも手探りですね。今なら、もっとあの頃の子どもたちに優しくできるのにと反省ばかりです。すっかり笑い話になりましたが。

分かっているつもり、見ているつもりでも、自分だけでは気づけないことがたくさんあります。私はそうやって、周りの方たちに気づかされ助けられて、子育ても仕事も続けてこられたと改めて感謝しています。

学校は保護者の皆さんの「子育て同志」です。担任は、学校でのお子さんの様子をたくさん知っています。ぐんと成長したことや輝く場面もあり、集団だから見える本人の課題もあります。今週から個人面談が始まります。保護者の方と信頼関係を築ける学校でありたいです。互いのコップを上向きに、お子さんの成長のために一緒に力を合わせられたら百人力です。

